

1 防災・防犯

区	地域コミュニティ協議会	活動名
北区	南浜コミュニティ協議会(福祉部会)	福祉防災マップ作成事業
北区	南浜コミュニティ協議会(福祉部会)	認知症サポート育成講座
東区	中野山小学校区コミュニティ協議会	地域で子どもを見守るボランティアパトロール活動
中央	湊校区コミュニティ協議会	小・中学校統合後を見据えた地域の環境や交流の促進
中央	白山校区コミュニティ協議会	白山校区コミュニティ協議会防災研修視察
中央	浜浦小学校区コミュニティ協議会	アンケート調査「災害時あなたは何処へ避難しますか？」
中央	関屋小学校区コミュニティ協議会	防犯活動事業
秋葉	新関コミュニティ協議会	災害に強い福祉コミュニティづくりの推進 新関「防災の日」の制定
西	東青山小学校区コミュニティ協議会	広域連合「自主防災会」の設立
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	震度6強の地震についての実体験に触れる事による啓発活動
西	小針小学校区コミュニティ協議会	防災講演会
西蒲	巻地区まちづくり協議会	わんわんパトロール隊

北区 南浜コミュニティ協議会（福祉部会）

活動名：福祉防災マップ作成事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

高齢化率が高いことから地震・津波等の災害発生時の住民の安否確認、避難誘導対策等が課題となってきている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域における要助け合い者等の状況把握及びマップの作成による可視化。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

福祉部会が中心になり、自治会ごとに福祉防災マップづくりを行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

北区社会福祉協議会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域の要助け合い者等の状況がマップによって一目瞭然となった。また、防災に関する意識が高まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

マップづくりが円滑に行えるよう区長・自治会長に事前に説明を行い、理解・協力を求めた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

年ごとに対象者等が変わることから毎年見直しを行い、マップづくりと防災に関する意識を育てていきたい。



北区 南浜地区コミュニティ協議会（福祉部会）

活動名：認知症サポート育成講座

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

高齢化が進展し、認知症高齢者等が増加する傾向の中で、見守りができる地域づくりが求められている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域全体で認知症高齢者等の見守りができるよう地域住民と南浜中学校生徒を対象に事業を行った。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

認知症サポート養成講座（会場 南浜中学校）

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

南浜中学校（地域教育コーディネーター） 北区社会福祉協議会 地域包括支援センター阿賀北

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

講座の開催によって、認知症に関する知識の習得や見守りの心構え等を学ぶことができた。また、地域における認知症に関する関心が高まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

学校、関係機関との連携を図り、実施することが適当と考え、南浜中学校・同地域教育コーディネーター、北区社会福祉協議会、地域包括支援センター阿賀北と協議しながら実施した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

年々、高齢化が進展し、認知症高齢者等がより増加すると思われるので地域での見守りが適切に行えるよう講座を継続する。



東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域で子どもを見守るボランティアパトロール活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成16年頃より、全国的に不審者が出現し、子ども達が危害を受ける事例が多発した。当地区ではコミ協を立ち上げた当初より、地域が一丸となって子どもが安心して生活できる見守り活動に取り組む必要があると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子どもたちへの声掛けや巡回を行い、犯罪などの危険な事態が子ども達に及ばないような環境をつくることです。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

全自治会に呼びかけパトロール隊員を編成し、児童の下校時に合わせたパトロールを組織的に実施しました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中野山小学校及び中野山小学校PTA

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

次第に参加者も増えるようになり、地域の中で、「子ども達を危険から守る」という意識とともに住民同士の連携もできてきました。

また、子どもたちの声かけにより、大人と学校の関係改善がすすみました。

さらに、巡回中パトロール隊員と地域住民との挨拶等交流もできています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当初は、ユニホームの調達等経費の面で大変でした。関係機関の協力得ながら、当地域だけのユニホームを整備してきました。少しでも幅広い年齢層の方からパトロールに参加してもらうよう心がけています。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

少しずつ、PTAの協力も得られ年齢層が広がる一方、ベテラン層の年齢が上がり対策が急がれています。地域の安心安全を守る重要な活動なので、しっかりした対策を住民の皆さんと共有し取り組んでいきたいと考えています。



中央区 湊校区コミュニティ協議会

活動名：小・中学校統合後を見据えた地域の環境や交流の促進

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

急激な少子高齢化の進展により、街中が閑散として来ている。近くに学校が無くなることは、街に活気が無くなり、人の交流が途絶えることを危惧している。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 防災意識の高揚
2. 見守り活動の推進
3. 地域の環境整備の定例化
4. 文教活動による地域交流の促進

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 防災訓練の実施
2. 高齢者マップの整備及び友愛訪問の拡充
3. 校区内、公園等への定期的清掃活動
4. 学校行事へ積極的に支援と協力や地域内交流事業を計画的推進

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中央公民館 中央区社会福祉協議会 総合防災訓練において警察及び消防署
湊小学校 二葉中学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

それぞれの活動には、相談の上、実施していることから、一定の効果はあった。
コミ協活動は、地域の方々から関心をもってもらえる事業活動としなければならないことから追求するのみ。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

コミ協役員だけでは計画が進まないことに於いて、中央公民館のアドバイスや協働していただいたことで、今後の企画に幅ができて喜んでいる。
総合防災訓練では過去の新潟地震の際、殆ど被害が無かったことから年々参加者が減りつつあり、工夫に思案している。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

人と人との交流を深める機会を、文教活動を通して実践していきたい。
世代間交流の充実、新企画の実践
統合する4小学校区間の交流と協力
防災意識の高揚

中央区 白山校区コミュニティ協議会

活動名：白山校区コミュニティ協議会防災研修視察

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

防災への無関心。
避難訓練のマンネリ化。
地域住民相互の交流が少なく、災害時に共助が行なわれにくい。
協議会の防災部会長が交替し、避難訓練の準備が間に合わなかったことが第一の理由であった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

大災害の疑似体験及び自助・共助のあり方を学ぶ。
お互い顔見知りになること。（その後の反省会も含めて）
マンネリ化した避難訓練を見直す。
避難所運営のあり方を学ぶ。
避難所運営のリーダーシップを学ぶ。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

中越大震災被災地の当時の様子を動画などを通じて学習した。
小千谷「そなえ館」で語り部（風間久司氏）に講演をお願いし、避難所開設・運営・生活物資の確保・衛生環境の確保・正しい情報の提供等々を学んだ。
今後の防災、災害時にそなえての心構えがある程度明確になった。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

消防中央方面隊白山分団 地域の民生委員 学校カウンセラー

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

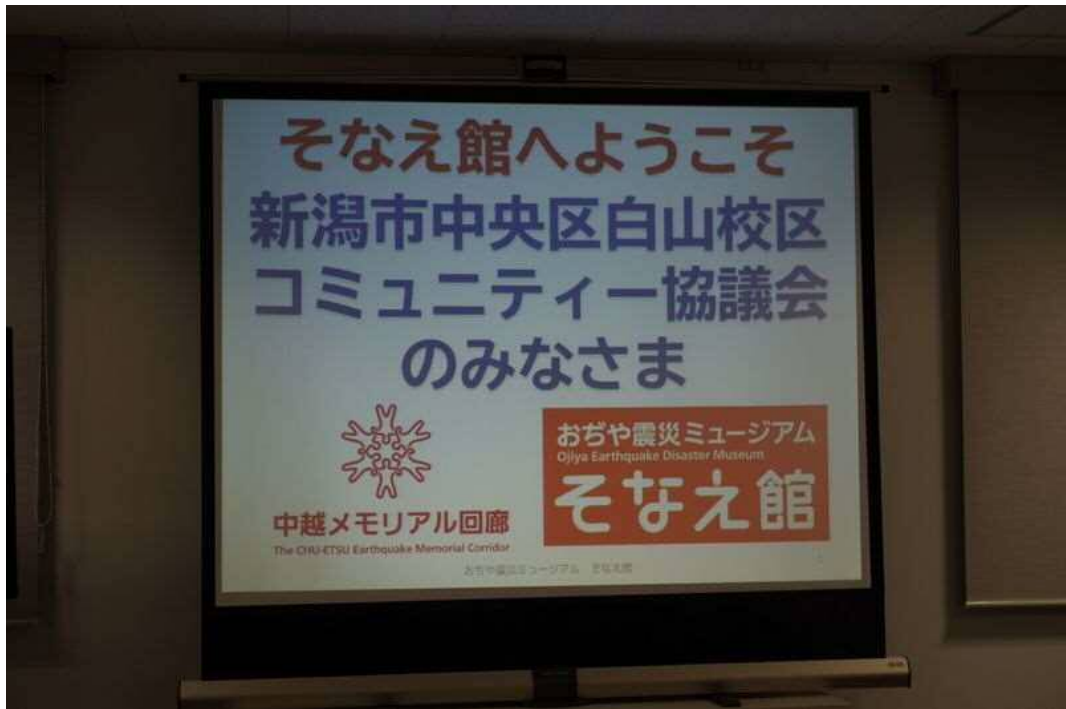
大災害時には、他の機関に頼らず、自助共助が不可欠であるという理解ができた。
大災害時の避難所運営等大変さがわかった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

バスの手配、保険の手配など。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

避難訓練の充実・機会があれば、災害地や防災先進地への視察を計画してみたい。



中央区 浜浦小学校区コミュニティ協議会

活動名：アンケート調査「災害時あなたは何処へ避難しますか？」

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の避難所の運営や民間施設の活用を考える前に、各避難所（公的施設）の避難者数等、基礎情報を把握することが重要である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

(1) 浜浦地域全戸アンケート (2) 公的避難所の選定 (3) 災害別(地震・津波)アンケートとする (4) 「避難しない」の項も選択肢に入れる(「地盤高図」等事前に周知)

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

(1) コミ協定例会でアンケート調査の趣旨・内容を検討し、各自治会の理解と協力を得る。(2) 防災部でアンケート調査票を作成 (3) 各自治会で全戸配布・回収・集計
(4) 防災部でまとめ (5) 各自治会で結果を回覧 (6) コミ協広報紙に掲載

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

定例会に参加している自治会以外の地域団体からも意見をいただいた。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

避難しない人の実態が把握できた。(津波46%、地震40%)
各避難所とも想定を超える人が集まることが示され、地域ごとの調整、避難所の運営、民間施設の活用等課題が浮き彫りとなった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

アンケートの必要性と協力を自治会に理解してもらうこと。
全戸調査なので、わかりやすい調査票に、かつ必要な情報が得られるように配慮。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

各避難所運営(含む部屋割)に活用。
民間施設の活用の必要性検討。
中学校避難所については関連コミ協の協力も必要。
初めてのケースなので、これをベースに今後より精度の高いアンケート調査ができればよい。(5～10年後)

平成 25 年 8 月 吉日

町内会 () 各位様

自治会 () 各位様

浜浦小学校区コミュニティ協議会

防犯部 部長 大坂 利夫

アンケート調査のお願い

災害が発生して、警報が発令された時、どこに避難しますか？

どの地域の方が、どこに避難されるか、その実態を知り、地域として適切な対応に役立てたいと考えております。

特に、津波については浜浦地域では4ヶ所の公的施設が指定されましたが、必要によっては、民間の施設も避難場所としてお願いすることも考えねばなりません。

下記のアンケート調査にご協力ください

記

どこに避難しますか？

アンケート避難場所調査用紙に該当する避難場所に○印を書いてください。

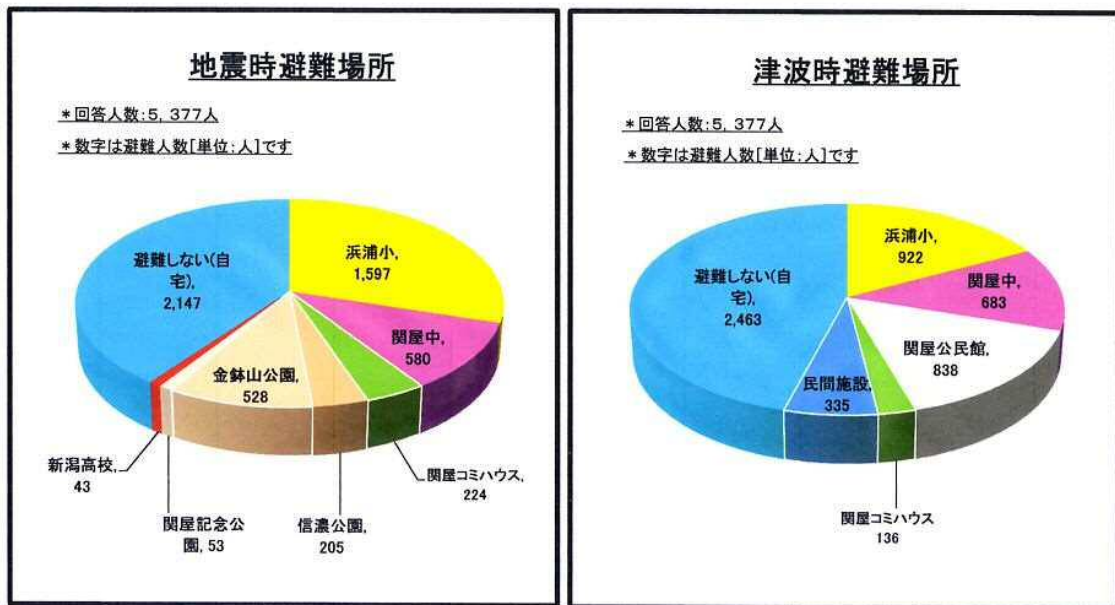
地震の場合 (震度4以上)	津波の場合
1. 浜浦小学校 (収容避難所)	1. 浜浦小学校 (避難場所)
2. 関屋中学校 (収容避難所)	2. 関屋中学校 (避難場所)
3. 県立新潟高校 (収容避難所)	3. 関屋公民館 (避難場所)
4. 関屋コミハウス (一時避難所)	4. 関屋コミハウス (避難ビル)
5. 関屋記念公園 (一時避難場所)	5. 民間施設 (3階以上) の開放 (希望)
6. 信濃公園 (一時避難場所)	
7. 金鉢山公園 (一時避難場所)	
8. 避難しない (自宅) (マンション)	6. 避難しない (自宅) (マンション)

(参考)

「新潟市防災マップ (中央地区)」、「中央区指定津波避難地域」

◎自然災害時あなたはどこへ避難しますか？

浜浦小学校区コミュニティ協議会のアンケート調査結果は以下の通りです。



中央区 関屋小学校区コミュニティ協議会

活動名：防犯活動事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

関屋小学校区には20の自治・町内会があり、それぞれが自主的に「防犯活動」に取り組んでいたが、平成19年4月にコミ協の設立にあわせ、地域と一体となった「安心・安全の町づくり」に取り組むため「防犯協会」を設立した。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 防犯パトロールの実施
2. 高齢者に対する振り込め詐欺防止活動
3. 防犯意識の高揚・普及活動

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. パトロールの実施＝①統一ユニホームの調達②ボランティア保険の加入
②パトロール実績の分析とマニュアル化
2. 振り込め詐欺防止活動＝警察職員・民生委員と高齢者訪問し啓発防止活動
3. 防犯意識の高揚・普及活動＝防犯研修会・防犯パンフレット等回覧

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中央警察署地域課 松波町及び市役所前交番 新潟中央防犯協会連合会

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

平成25年度の防犯パトロール実施状況は、
空き家＝不審者侵入・部屋荒らし・盗難事件等数件発生・冬季水道管破裂
危険構造物等＝樹木の枝が路上に（カーブミラー・道路標識・消防車侵入障害）倒壊の恐れのある
柱等
これら事案と空き地の雑草繁茂除草について、市・警察・所有者に連絡対処

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 防犯パトロールのマニュアル設定とボランティア保険の加入時期
- ①実施結果表の作成とチェック事項（鍵なし自転車・危険構造物・空き家・児童見守り等10項目）及び管内図に巡回路の表示
 - ②パトロールの年度間の継続を図るため、3月31日に保険加入4月1日補償対象とする措置（自治・町内会長の変更等で4月中に完全加入）

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

防犯パトロールは、平成25年実績で実施延べ回数280回延人数730人で、定着をしてきており、パトロール時の視点・対処行動が一定水準に達して来ており、今後も継続していく方針である。他の事業も同様継続する。



秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：災害に強い福祉コミュニティづくりの推進 新関「防災の日」の制定

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

これまで自主防災訓練の反省から、新関地域独自の「防災の日」が必要との声が出る。
毎年6月の第4日曜日「新関防災の日」と位置付ける。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

毎年6月の第4日曜日を「新関防災の日」と位置付けることにより地域住民の防災意識の継続高揚を図ることにした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

自主防災担当者会議を開催し、「新関防災の日」の趣旨や目的の理解を図った。
当日は、青色パトロール隊並びに地元消防団の協力を得、パトロール車、消防自動車で地域を巡回し、防災意識の啓発に取り組んだ。
また、事前に全家庭に配布した「緊急情報キット」の書き込み（医療情報・緊急連絡先等）や冷蔵庫への保管を促した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

民生委員 地域ボランティア 消防団

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

新関地域の「防災の日」を定めたことにより、地域全体で防災に取り組む姿勢が浸透した。
「防災の日」に合わせ、防災訓練を実施した自治会が出てきた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

「防災の日」時期の時節設定に苦労した。
地域住民の繁忙の度合い、地域行事の兼ね合いなど。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

新関地域の「防災の日」が地域住民に理解され、より防災意識が高まるようにしていきたい。
「防災の日」の日に合わせて、新関地域一斉の防災訓練を今後模索していきたい。
「避難所運営マニュアル」は、適宜見直しを行い、より実践的なものにしていきたい。
小学校や保育園と連携した防災訓練のあり方をさらに検討し、子供たちの安全確保に努めたい。



西区 東青山小学校区コミュニティ協議会

活動名：広域連合「自主防災会」の設立

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当地域は、信濃川と西川の流域に近接しておりまた低地であり、津波・水害の深刻な被害が想定されることの認識を持っている。

しかし自治会単位の自主防災会の設立数が少なく、事情によっては設立ができない所もある。コミ協内の広域連合的な自主防災会設立の必要性の声が大きくなった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

自治会全部の賛同による「連合自主防災会」を設立する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

コミ協役員会や、コミ協自治会長連絡会等の場で、随時議題として載せ、その必要性とあり方の議論を積み重ねた。

H26.4.25コミ協総会において設立の提案をし、全会一致決議した。

H26.6.5広報紙（コミ協だより）に掲載し、広く全世帯に配布・周知した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

東青山小学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

多発する自然災害に迅速・機動的に組織的な対応がとれる。

さっそく、H26.7.9に新潟市より当地区の一部に「がけ崩れ避難情報」が発令された事に関し、組織的な対応を行った。（①現場の状況確認、地域住民へヒアリング・信濃川、西川の河川状況の確認・小学校に避難所が開設され運営支援。）

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

万一の場合、各自治会では自治会内の対応で手一杯の状況となる。この連合組織をどう機能させるか？組織と要員配置をどうするか？という点。

役員配置はコミ協の役員を中心とした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当地区の災害避難マップの発行（西区役所と協働作業）および全世帯配布とその説明会。

地域合同避難訓練（児童を含む）の実施。

防災器材・用品の置場の確保（小学校内に決定）と備蓄・管理。

日常的に啓蒙活動を実施。

西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：震度6強の地震についての実体験に触れる事による啓発活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

巷間では津波が話題の主体をなし、なお当方の砂丘地帯では新潟地震での記憶で安全神話になっている。当地区の災害の想定第一は地震である。現行の想定震度は6強であるがその実態については中々理解できていない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

実際のその強度の地震災害に遭遇した人に話を聞いて質疑応答の中で理解を深める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

付近では柏崎市が中越沖地震で6強の地震に遭遇し、地形、地質も当コミ協に類似しておるため訪問して話を聞くことを計画した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

他のコミ協にも呼びかけて参加して頂いた。

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

実際に被災の状況、体験を生の話として聞かせて頂き、質疑の中で理解できたのは大きなインパクトになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

実際の地震振動の強烈さを住民全員に伝える努力を防災部員を通じて行い、今後の防災に生かして行きたい。



西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災講演会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

東日本大震災を機会に、地震発生後の津波の河川遡上による堤防決壊、家屋浸水、人命の安全確保の対応をどうすべきか。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地震による津波の河川遡上の危険性と破壊力を講習会等の開催により、周知と理解を図ることとした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

講演会、セミナーの開催を行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所担当課 小学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地震による津波と河川遡上の恐ろしさを講演会により理解された。
避難場所の周知、日常の防災意識の向上が図られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加人数の把握と会場予約の調整に苦労した。（西新潟市民会館は年初より予約多し）

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

定期的な防災講演会、セミナーの開催を行う。
合同防災訓練を随時開催し、訓練の重要性を身体で憶えてもらう訓練を行う。

西蒲区 巻地区まちづくり協議会

活動名：わんわんパトロール隊

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

子ども、高齢者等の犯罪弱者が犯罪に巻き込まれることへの危険性を感じたため。
朝夕犬の散歩者が多いこと。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

犬の散歩者からわんわんパトロール隊に参加してもらう。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

朝夕犬の散歩時にわんわんパトロールグッズを付けて、自分達の散歩時間に合わせて巡回を実施した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西蒲警察署 区役所安心安全係

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

各地域のわんわんパトロール隊の活動により区民に防犯への理解が向上してきた。
住民間の連帯感が強まり、犯罪の減少に結び付いた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

わんわんパトロール隊が各々異なる時間帯に行くことから、大勢の目で見守っているというサインを送り続ける点。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

80名位を目標に加入者を募集し、各地区4、5人位にしたい。
わんわんパトロール隊を対象に年1回の講和・講習会を開催する。

